

## 経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 松前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり定額料金(円)	
-	80.74	99.71	3,871	

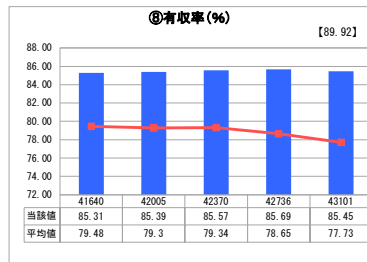
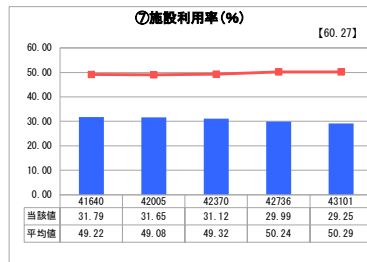
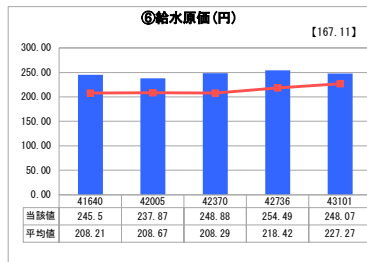
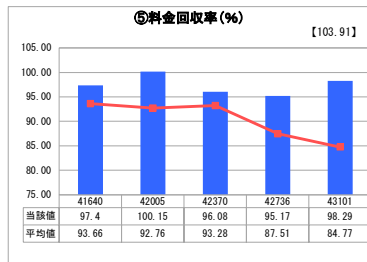
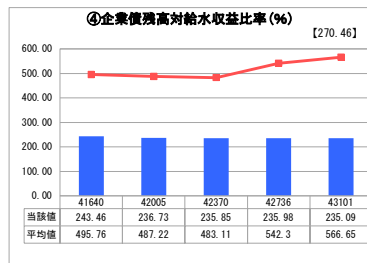
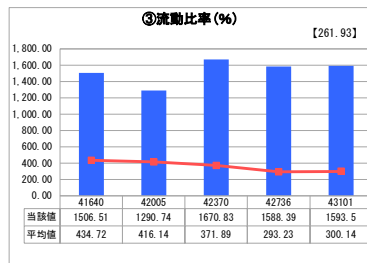
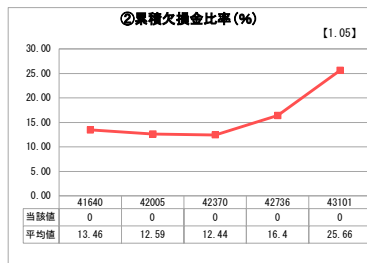
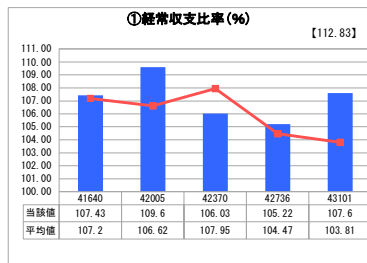
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,257	293.25	24.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,115	12.00	592.92

**グラフ凡例**

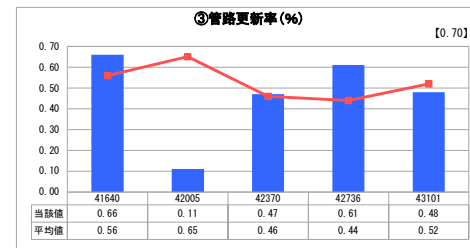
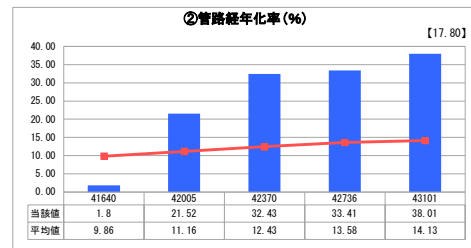
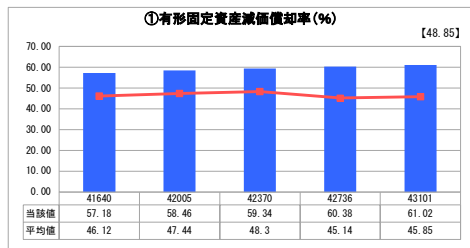
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成30年度全国平均

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



### 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支は黒字を維持しており、累積欠損金もなく、短期的な債務に対する支払能力も十分にあり、10年以内に50%に達する見込みである。管路更新率は1%未満で推移しているため、管路経年化率は今後も増加する。平成27年度は更新費用の割合を機械設備改修に多く費やしたため、管路更新率は著しく低い。施設の老朽化の状況を分析し、施設のダウンサイジングも含めた現状にあった更新計画の作成を進める。

#### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管路の割合は増加しており、10年以内に50%に達する見込みである。管路更新率は1%未満で推移しているため、管路経年化率は今後も増加する。平成27年度は更新費用の割合を機械設備改修に多く費やしたため、管路更新率は著しく低い。施設の老朽化の状況を分析し、施設のダウンサイジングも含めた現状にあった更新計画の作成を進める。

#### 全体総括

経常収支が黒字で推移しているが、人口減少による給水収益の減少は避けられない。長期的な視点に立った経営戦略を令和2年度までに策定し、計画的な施設の更新、効率的な施設の維持管理及び事務処理を進める。また、水道事業を維持するための必要な負担について、需要者の理解を得るための情報提供の在り方等についても具体的検討を進める。